

# その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



**(注)** この表に記載されている電話ガイドやその他のマニュアルには、  
[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c\\_ipphon/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm) からアクセスできます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。  追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。  別の方法として、電話機に Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを接続することもできます。	参照先 <ul style="list-style-type: none"> <li>短縮ダイヤル (P.34)</li> <li>Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール 7914 電話ガイド (SCCP 電話機のみ)</li> </ul>
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である (SCCP 電話機のみ)	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Unified CallManager Assistant</li> <li>共有回線</li> </ul>	参照先 <ul style="list-style-type: none"> <li>共有回線の使用 (P.37)</li> <li>Cisco Unified CallManager Assistant ユーザガイド</li> </ul>

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1 つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば 1 つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で 사용할ことができます。	<a href="#">P.37 の「共有回線の使用」</a> を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">応用的なコール処理 (P.34)</a></li> <li>• <a href="#">共有回線の使用 (P.37)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用法 (P.44)</a></li> </ul>
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	<a href="#">P.48 の「自動応答の使用法」</a> を参照してください。
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオカメラを使用してビデオ コールを発信できます。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『 <a href="#">Cisco Unified Video Advantage クイックスタートガイド</a> 』および『 <a href="#">Cisco Unified Video Advantage ユーザガイド</a> 』を参照してください。
電話機の短縮ダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプ フィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	<a href="#">P.45 の「BLF の使用による回線の状態の判断」</a> を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	<a href="#">P.44 の「Cisco エクステンション モビリティの使用法」</a> を参照してください。